
平成21年度

中間決算の概要(9月期)

地方公共団体金融機構

1. 平成21年度中間決算(9月期)のポイント

当機構設立後、初の中間決算である。経理処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤については、関係法令の規定等による。

会計期間は、平成21年4月1日から平成21年9月30日まで。

経常利益1,283億円、特別損益 1,219億円との差額**63億円の中間純利益**を計上。このうち、一般勘定28億円、管理勘定35億円。

資産総額は貸付金等23兆2,840億円、負債総額は債券等23兆2,257億円、純資産総額は出資金等583億円を計上。

(注)「管理勘定」とは公庫債権管理業務(公営公庫が貸し付けた資金に係る債権の管理及び回収業務並びにその付帯業務)に係る勘定であり、「一般勘定」とは公庫債権管理業務以外の業務に係る勘定である。

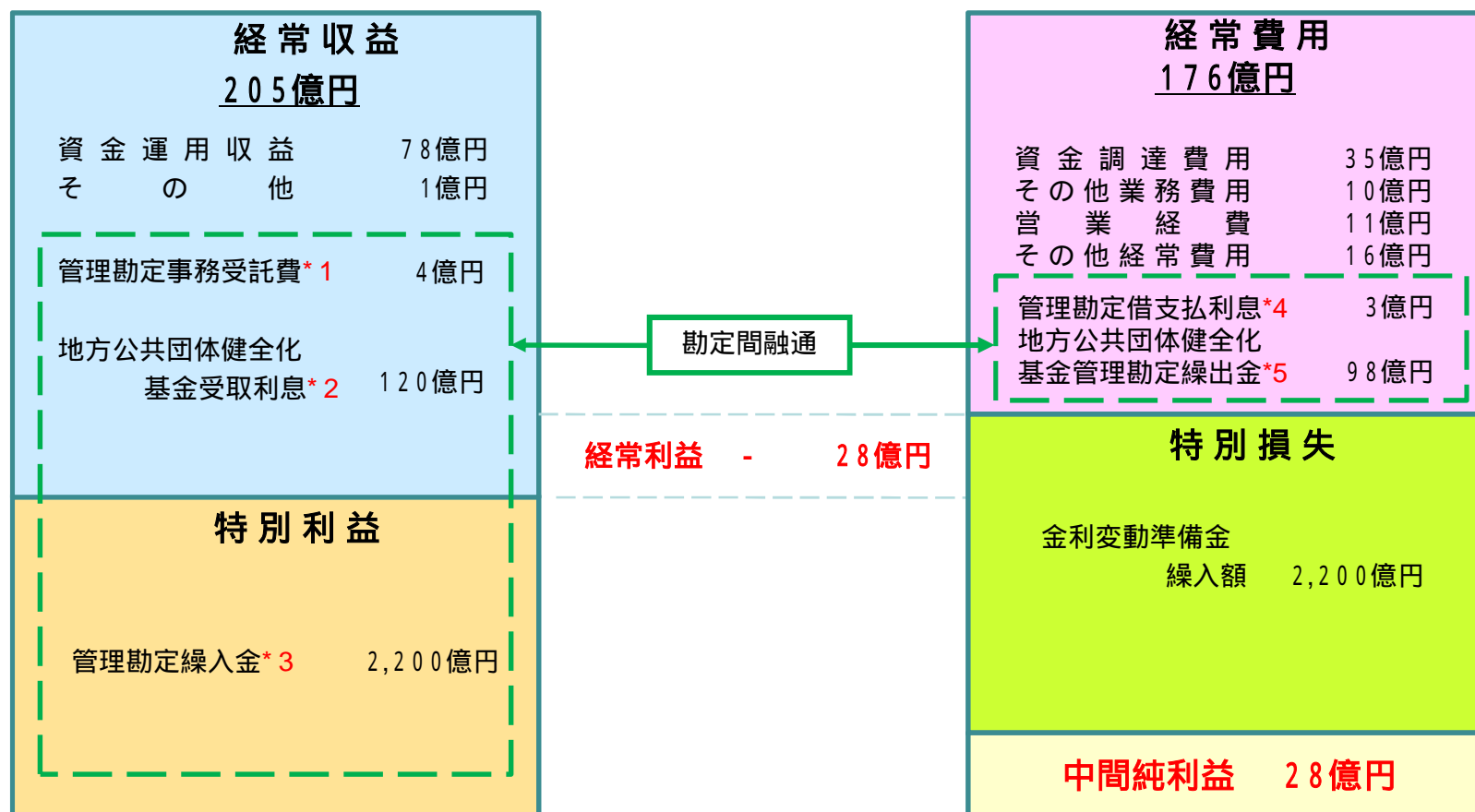
2. 機構全体の損益の状況

貸付金利息等の資金運用収益が債券利息等の資金調達費用を上回ったこと等により、**経常利益は1,283億円**。
 特別利益(準備金・積立金取崩し)2,276億円、特別損失(準備金繰入れ)3,496億円を計上したため、**特別損益は1,219億円**。
 したがって、**平成21年9月期の純利益は63億円**。

経常収益 2,806億円		経常費用 1,522億円
資金運用収益 2,805億円 その他 1億円		資金調達費用 1,469億円 役務取引等費用 1億円 その他業務費用 23億円 営業経費 12億円 その他経常費用 16億円
特別利益 2,276億円	経常利益 (-) 1,283億円	特別損失 3,496億円
公庫債権金利変動準備金 取崩額 2,200億円 利差補てん積立金取崩額 76億円	特別損益 (-) 1,219億円	金利変動準備金繰入額 2,200億円 公庫債権金利変動準備金 繰入額 1,296億円
		中間純利益 63億円

2-a. 一般勘定の損益の状況

貸付金利息等の資金運用収益が債券利息等の資金調達費用を上回ったこと等により、**経常利益は28億円**。
特別利益、特別損失とも2,200億円を計上。したがって、**平成21年9月期の一般勘定の純利益は28億円**。



(注) *を付した科目は管理勘定との間の勘定間融通科目であり、4頁の同じ番号の科目が相対科目である。

2-b. 管理勘定の損益の状況

貸付金利息等の資金運用収益が債券利息等の資金調達費用を上回ったこと等により、**経常利益は1,255億円**。
 特別利益2,276億円、特別損失3,496億円を計上したため、**特別損益は 1,219億円**。
 したがって、**平成21年9月期の管理勘定の純利益は35億円**。

経常収益 2,828億円		経常費用 1,573億円
資金運用収益 2,726億円		資金調達費用 1,433億円 役務取引等費用 1億円 その他業務費用 12億円
一般勘定貸受取利息*4 3億円	勘定間融通	一般勘定事務委託費*1 4億円 地方公共団体健全化 基金支払利息*2 120億円
地方公共団体健全化 基金一般勘定繰入金*5 98億円	経常利益 - 1,255億円	特別損失 3,496億円
特別利益 2,276億円	特別損益(-) 1,219億円	一般勘定繰出金*3 2,200億円 公庫債権金利変動準備金 繰入額 1,296億円
公庫債権金利変動準備金 取崩額 2,200億円		中間純利益 35億円
利差補てん積立金取崩額 76億円		

(注) *を付した科目は一般勘定との間の勘定間融通科目であり、3頁の同じ番号の科目が相対科目である。

3. 資産の状況

平成21年9月30日現在の資産総額は23兆2,840億円で、平成21年3月31日現在より855億円減少。有価証券・現金預け金の合計額が2,863億円増加したものの、資産のほとんどを占める貸付金については当期貸付額より回収額が3,701億円上回ったこと等が要因。

【平成21年3月31日現在】

貸付金	22兆2,152億円
有価証券	8,748億円
現金預け金	2,555億円
その他資産	200億円
有形固定資産	30億円
無形固定資産	8億円
合計 23兆3,696億円	



855億円 減少

【平成21年9月30日現在】

貸付金	21兆8,451億円
有価証券	1兆1,687億円
現金預け金	2,479億円
その他資産	183億円
有形固定資産	29億円
無形固定資産	8億円
合計 23兆2,840億円	

4. 負債の状況

平成21年9月30日現在の負債総額は23兆2,257億円で、平成21年3月31日現在より908億円減少。金利変動準備金及び公庫債権金利変動準備金の合計額が1,296億円増加したものの、負債の大半を占める債券については当期発行額より償還額が2,146億円上回ったこと等が要因。

【平成21年3月31日現在】

債	券	18兆9,781億円
地方公共団体 健全化基金		8,946億円
金利変動準備金		2,200億円
公庫債権金利変動 準備金		3兆747億円
利差補てん積立金		1,288億円
そ の 他		200億円
合計		23兆3,165億円



908億円 減少

【平成21年9月30日現在】

債	券	18兆7,656億円
地方公共団体 健全化基金		8,963億円
金利変動準備金		4,400億円
公庫債権金利変動 準備金		2兆9,843億円
利差補てん積立金		1,212億円
そ の 他		181億円
合計		23兆2,257億円

5. 純資産の状況

平成21年9月30日現在の純資産総額は583億円で、平成21年3月31日現在より52億円増加。
平成21年9月期における一般勘定の純利益28億円、管理勘定の純利益35億円を各々「中間未処分利益」として計上したものの、金利スワップ取引に係る時価評価損11億円を繰延ヘッジ損益として計上。

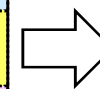
【平成21年3月31日現在】

地方公共団体出資金	166億円
一般勘定積立金	12億円
管理勘定利益積立金	351億円

合計 530億円



一般勘定中間純利益	28億円
管理勘定中間純利益	35億円
金利スワップ時価評価損	11億円



【平成21年9月30日現在】

地方公共団体出資金	166億円
一般勘定中間未処分利益	28億円
管理勘定中間未処分利益	35億円
一般勘定利益積立金	12億円
管理勘定利益積立金	351億円
繰延ヘッジ損益	11億円

合計 583億円

(参考) 平成21年9月期決算における主要勘定の状況 (単位:億円)

【貸付金】

前期末 残高	貸付額	回収額	期末残高 + -
222,152	3,569	7,271	218,451

【債券】

前期末 残高	発行額	償還額等	期末残高 + -
189,781	8,906	11,031	187,656

【地方公共団体健全化基金】

前期末 残高	納付金	基金 運用益	利下げ補て ん所要額	期末残高 - + -
8,946	-	120	103	8,963

【利差補てん積立金】

前期末 残高	取崩額	期末残高 -
1,288	76	1,212

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末残高	年次繰入れ	公庫貸付に係る 利下げ所要額	公営企業 債券借換益	期末残高 + + +
金利変動準備金	2,200	2,200	-	-	4,400
公庫債権金利変動準備金	30,747	2,200	98	1,198	29,843